

特別支援教育における情報端末活用のあり方

H24-26 年度実践研究 兵庫県小野市教育委員会

魔法のじゅうたんプロジェクト H24

目的：携帯情報端末を実際に教育現場で活用し、その有効性を検証しより具体的な活用事例を発表していくことで、障害を持つ子どもの学習や社会参加の機会を増やすことを目指す。

主催：東京大学先端科学技術研究センター、ソフトバンクモバイル、エデュアス
 機器の貸出し 指導者と児童生徒のペアで各1台
 内容 小野市タブレットPC活用研修会の開催
 東京大学中邑賢龍教授講演
 県内タブレットPC活用実践校発表

魔法のランププロジェクト H25

目的：児童・生徒一人一人のニーズ、障がいの特性および状況に即した教育の実現を目的とする

協力：東京大学先端科学技術研究センター、ソフトバンクモバイル、エデュアス
 機器の貸出し 指導者と児童生徒のペアで各1台
 内容 小野市タブレットPC活用研修会の開催
 兵庫県特別支援教育センター実技研修開催

ねらい

特別支援教育において、児童生徒の障害の実態および、特性に応じて、教科などの学習場面や、日常生活で情報端末を活用した学習支援について実践研究を行い社会参加を促す。

タブレット PC 活用推進委員会

目的：携帯情報端末を実際に学校で活用し、その有効性を検証し、具体的な活用事例を研究することともに校内及び市内の教員へ研究成果を普及することを目指す。

参加者：活用実践校教員、事務局(学校教育課)
 内容：校内支援体制の構築

- 活用計画の策定
- 導入セミナーへの参加
- 校内研修の実施
- 活用事例の情報交換
- 活用実践研究発表
- 活用マニュアル作成
- 理解啓発→通信の発行
- 市内教員へのセミナー実施
- 先進校視察
- 中間報告
- 活用成果報告

実施場所：各実践校及びコミセンおの

連携：特別支援教育担当者会
 情報教育・視聴覚教育担当者会
 特別支援教育コーディネーター担当者会

連携

研究

協力

推進



タブレット PC の活用

居住地校との交流及び共同
 学習における実践活用研究

魔法のじゅうたんPJ研究協力校

小野特別支援学校(知的障害)

iPad 5 台配置→小・中学部で活用+3台

魔法のじゅうたんPJ→iPad2 台配置(ﾊﾟﾌﾞ活用)

大部小学校(特別支援学級)

魔法のじゅうたんPJ→iPad 2 台配置(ﾊﾟﾌﾞ活用)

小野東小学校(通級指導教室)

通常学級での活用研究→iPad 1 台配置

魔法のランププロジェクト継続協力校

小野特別支援学校(知的障害)

iPad 10 台配置(予定)

魔法のランプPJ 継続→iPad2 台配置(ﾊﾟﾌﾞ活用)

大部小学校(特別支援学級)

魔法のランプPJ 継続→iPad2 台配置(ﾊﾟﾌﾞ活用)

小野東小学校(通級指導教室)小野中学校

市内全特別支援学級へ

市内小中学校特別支援学級等

iPad 40 台配置(予定)

小学校特別支援学級 17 台

中学校特別支援学級 9 台

小野特別支援学校 14 台

市単独事業+α

家庭や地域での活用

H24年度先行研究

H25年度実践研究

H26年度実践活用